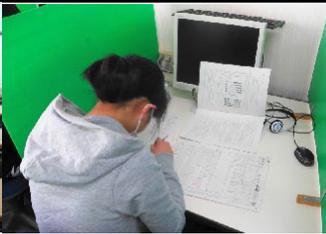




1/10、11の道コン受験のようす



1/12 冬期講座最終日 道コン見直し



冬期講座で唯一の楽しみ?の昼食 午後からも頑張りました



道コンの結果をもとに課題と今後の取り組みについて面談



日常の学習のようす



高校生はもうすぐ期末試験なので



中3生に今後の授業について説明



1/25 入試直前ゼミがスタートしました。土、日曜日で全8回です。入試までまだ30日あるので全力で取り組みましょう!



韓国に行って来た在言くんから



バドの全道大会に出場した藤井さんから

浜矩子（はまのりこ）
52年、東京生まれ。一橋大経済学部卒業後、三菱総研に入社し英国駐在員事務所長、主席研究員を経て、02年から現職



「日本人よ、目覚めよ！」
新年にあたり、あらためて強調したい。
今年、五輪なんてやってる場合なのではないか。
今年、東京五輪が開催される。しかし、五輪なんてやってる場合なのではないか。
醒める必要に迫られています。今年、東京五輪が開催される。しかし、五輪なんてやってる場合なのではないか。

「北アイルランド」が展開されるわけですが、もうひとつ。まさかのまさかですが、③の可能性として、ドイツが再び東西に分裂する恐れを危惧しています。
昨年「ベルリンの壁」崩壊から30年という節目の年でした。そんな歴史的な時あたかも、旧東ドイツの諸州で、現在のドイツの体制に対する不満が大きくなっています。「我々はまだまだ三流市民扱いはされている」「北アフリカからやってくる移民の方、東独人よりも大事なのか」といった声が高まっている。そうした人々の憤懣や嘆きを巧みに引き寄せ、ポピュリストや右翼、排外主義者たちが、特に東ドイツで得票を集めるという状態になっています。
まさに、グローバル時代の幕開けとともに成立した「統一ドイツ」が、破格グローバル化の兆候が出てきた今、再び東西にたもとを分かつかつ。そんなことも現実には起こり得るのではないかと。
融合から分断の時代になってしまうのかどうか。この3つの「D」がともにも気になります。
日本人にとっては、当たり前だと思っていた環境が、劇的に変わっていく時代を迎えたとと言えるでしょう。どうも日本人は、平穩で見通しのつきやすい環境を求めめる傾向がある。しかし、一定方向に向かって流れていく歴史というものを前提にすることは、もはやできなくなりました。新時代への対応力を培うために、日本人も、覚醒する必要に迫られています。
今年、東京五輪が開催される。しかし、五輪なんてやってる場合なのではないか。

同窓社大教授・渡辺予民が問う 2020年になる3つの「D」
新しい年を迎えた今、2020年がどんな年になるのかを考えると、私は3つの「D」が気になります。
① Deglobalization (脱グローバル化)
② Decouple (分離)
③ Disintegration (解体)
帰らざる川だと思われていたグローバル化が、「一國主義」「我が國主義」によって逆流し、世界の国々がみな「引きこもり」になるといふ兆候がみられます。これが①です。「破格グローバル」と言いたいところですが、グローバル経済が破り捨てられるという意味で。
そんな中、②の様相が顕著になってきました。ま

ずは米国と中国。かつて「チャイナ」と呼ばれたほど、米中の経済は完全に一体化したと言われましたが、ここへきて分離して行っています。それに伴い、国境を超えたサプライチェーンを軸にした貿易の流れが切断されつつある。経済的な融合が、外交安全保障上は非常に対立しやすい米中両国を歩み寄らせていたものの、これが崩れ、きない問題が出てくる恐れがあります。
もうひとつの②は、英国とEU。昨年12月の総選挙でジョンソン英首相の保守党がとんでもない勝利を取め、英国のEU離脱がいよいよ現実となろうとしています。
そして、EUから英国が離れると③の可能性が高まります。スコットランドが英国から離脱、独立す

る。北アイルランドも同様に英国から離脱し、アイルランド共和国に属する。そんなことが起こるかもしれない。そんなことが起こるかもしれない。「ブレグジット」によって「スコジット」「北アイルジット」が展開されるわけですが、もうひとつ。まさかのまさかですが、③の可能性として、ドイツが再び東西に分裂する恐れを危惧しています。
昨年「ベルリンの壁」崩壊から30年という節目の年でした。そんな歴史的な時あたかも、旧東ドイツの諸州で、現在のドイツの体制に対する不満が大きくなっています。「我々はまだまだ三流市民扱いはされている」「北アフリカからやってくる移民の方、東独人よりも大事なのか」といった声が高まっている。そうした人々の憤懣や嘆きを巧みに引き寄せ、ポピュリストや右翼、排外主義者たちが、特に東ドイツで得票を集めるという状態になっています。
まさに、グローバル時代の幕開けとともに成立した「統一ドイツ」が、破格グローバル化の兆候が出てきた今、再び東西にたもとを分かつかつ。そんなことも現実には起こり得るのではないかと。
融合から分断の時代になってしまうのかどうか。この3つの「D」がともにも気になります。
日本人にとっては、当たり前だと思っていた環境が、劇的に変わっていく時代を迎えたとと言えるでしょう。どうも日本人は、平穩で見通しのつきやすい環境を求めめる傾向がある。しかし、一定方向に向かって流れていく歴史というものを前提にすることは、もはやできなくなりました。新時代への対応力を培うために、日本人も、覚醒する必要に迫られています。
今年、東京五輪が開催される。しかし、五輪なんてやってる場合なのではないか。

2020年、激変する教育
まず驚くのは今年改訂される小学校の教科書の内容です。新教科書5つのポイントは
1. 学習量は変わらず「学び方」を盛り込む
2. 学び方を教科書がリードする
3. 学びと日常生活・現実社会を結びつける
4. 教科や学年を超える「学びのつながり」を示す
5. デジタル教科書の存在感
とにかく教科書全体が図表が豊富で、そこからの情報を読み取ることで、データの活用を重要視しています。また、理科では観察・実験を中心とした探求の課程を重視し、社会では高校入試に直結する最新のテーマも取り上げています。そして英語は外国語活動から「教科」に格上げされ質的にも量的にも圧倒される内容です。
そして、最も必要とされるのが「読解力」と「考える力」なのです。やめないと過保護!

29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土
					振替休日	入試直前ゼミ⑧	入試直前ゼミ⑦				★私学入試★		★高専入試★					建国記念の日		入試直前ゼミ⑥	入試直前ゼミ⑤					入試直前ゼミ④	入試直前ゼミ③	
					休塾	休塾							休塾					休塾		休塾							休塾	
<p>ストップ 過保護・過干渉!</p> <p>公立高校入試まであと32日</p> <p>高専入試まであと15日</p> <p>一目に一度はR-GROUPの確認をお願いします。</p> <p>2月の予定</p>																												

そこの聞きたい

英語教育どうする = NHKラジオ英語講師・杉田敏

英語教育が揺れている。文部科学省が来年以降の「大学入学共通テスト」として予定していた民間試験が見送られた。グローバル時代の人材育成に向け、今春からは小学3年から英語教育が始まるなど、英語教育改革 = 1 = が大きく進む。多くのビジネスマンらが愛聴するNHKラジオ講師の杉田敏さん（75）はどう受け止めているのだろう。【聞き手・森忠彦】

まず興味ある素材から

——来年から導入されるはずだった英語の民間試験が見送られました。一連の経緯をどう見えていますか？



基本的に「読む・書く・聞く・話す」の4技能をバラバラに測定してどんな意味があるのか、という疑問があります。英語に限らず言語には四つの能力が密接に関わっていて、学習によって相対的に伸びてゆきます。どれか一つだけではなく、それぞれの力を磨くことによって全体の能力が高まってゆく。私の場合、注視するのが「書く力」。帰国子女などの中には、話すのは流ちょうだが、文章を書かせると「この程度？」と感じてしまう人がいます。自分の考えがしっかりとまとまっていない証拠ですね。

最も難しいのは、やはり「話す」ことでしょう。私は番組の高い目標として「雑談力」をつけることを掲げています。想定問答が利かない雑談は、相手がどんな話を始め、どう答えるか、まったく予測が付きません。そこに対応する力がついてこそ、相手との会話が成り立つ。

TOEICや英検など、もともと狙いや性格が異なる複数の試験を一律に評価するのも無理だし、料金も高額になる。4技能を測りたいという趣旨はいいとして、今回の評価手段では公平とは思えません。白紙撤回は妥当な判断だったと言えるでしょう。

——小学校での英語教育が本格化します。どう見えますか？

日本には「英語は早く始めた方が上手になる」「小さい時の方が上達する」という神話がありますが、果たしてそうでしょうか。私の孫娘たち（中学3年、小学4年）を見ていて思うのですが、今の小中学生は学校に、部活に、習い事に、遊びにと、結構忙しい。勉強面で見ても、まず身につけるべきは思考力の原点となる母語、国語でしょう。ここがきちんとしていないと外国語は理解できません。なのに無理して英語に時間を割くと、本来ならこの年齢の間に習得すべき重要なことの一部を捨てるを得なくなります。

私は自分自身の経験も含め、「英語は中学に入ってから勉強して遅くない」という考えです。中学で始め、高校で伸ばし、興味があれば大学で続けられればいい。誰もが一律に英語ができる必要もない。小学生の間は、日本社会で生きてゆくための基本的な常識を身につけ、関心があることに挑戦してみる。無理して英語を押しつけると、早々に英語嫌いを生むことにもなりかねません。

しかも、小学校現場の状況を聞く限り、きちんとした初期英語を教える体制がどこまでできているのか。下手な発音を覚えてしまうことの方が逆に問題です。——英語に関心を持つために、重要なことは何でしょう。

上の孫は以前、シンガポールに住むなどし、小6の時に英検1級に受かりました。英語環境に恵まれていたこともあるのですが、彼女が本当に好きだったのは数学です。国際的な数学のオリンピックに挑戦するためには英語で数学の問題を解かないといけません。それで英語を猛勉強したのです。見事に金メダルを取りましたが、英語のための英語ではなく、数学五輪という目標のための英語だったのです。基本は好きなことを英語で学べばいいんです。将棋が好きなら、今は英語で書かれた本はたくさんあります。ファッションでもスポーツでもいい。まず自分が好きな、興味があることから英語に関わってみる。英語ができれば世界が広がるのは確かです。自らのモチベーションを高める方法を見つけること。

そのためにまずは教師の質の向上でしょうね。先生自身が自律心を持って学び直し、その経験を通して、子供たちの関心の後押しをしてあげてほしい。「英語ができるようになると、こんなにいいことがあるよ」と言えるようにね。

——効果的な学習方法はありますか。

米国ではどこの小学校でも取り入れている「Show & Tell」という発表方法があります。それぞれが自分の家の「お宝」を持ってきてみんなの前で紹介する。例えば、愛犬でもおじいさんの帽子でもいい。それにどんないわれがあるのか。相手がわかりやすいように話すのです。

自分のことですから話しやすいし、プレゼンテーションの練習にもなります。人前で話すのが苦手という人が多い日本人にも受け入れやすい方法です。私も大

学の講義で取り入れています。結構、立派な英語でプレゼンしていますよ。——ところで、「ビジネス英語」 = 2 = では米国を舞台にいろんなストーリーが進みます。多くが日本社会の参考になるものですが、素材はどうやって？

毎朝、米国紙やテレビ、雑誌のサイトでニュースをチェックしています。続けていると、米国社会のトレンドが見えてきます。最近では「週休3日制」や「会社は誰のもの（株主重視が変わりつつある）」など。米国だけでなく、日米で異なる社会システムの比較や、日本の方が進んでいることも取り上げています。

学校英語では、白（○）か黒（×）かを問われることが多いのに対し、実社会で使われている英語には「グレー」の部分が多いのです。言語の世界においても「絶対的なルール」は存在しません。難しく考えすぎずに、まずは現実の場で、実際に使ってみることでしょう。

聞いて一言

「日本で一番、社会人の受講者が多い英語講師」という紹介がびったりの杉田さん。30年以上にわたるラジオ講座のリスナーは数知れない。私もその一人だ。

米国が舞台だが、日本と共通する話題も多い。1月放送の「過保護な親たち」などは、少子化が進む日本でも広がりつつある興味深いテーマだ。「米国は今後も、いろんな意味で参考になる国です」

語学習得の秘訣（ひけつ）は、まず子供たちの興味を引き出すこと。今の英語教育に欠けているのは、この原点ではないか。 毎日新聞 2020年1.14

杉田敏（すぎた・さとし） 1944年生まれ。青山学院大卒業後、英字紙の記者に。米オハイオ州立大大学院修了（ジャーナリズム）。その後、米国や日本のPR業界で活躍。87年からNHKラジオで「ビジネス英語」を続けている。昭和女子大客員教授。

■英語教育改革

学習指導要領の改定に伴い、2020年度以降、英語教育が大きく変わる。小学校でも3年から英語が始まり、5年からは正式な「教科」に。中学では英語だけで授業を行う「オールイングリッシュ」が基本になる。高校では「読む・書く・聞く」に加えて「話す」の4技能が重視され、大学入試でも評価基準となる。



看護職員、2025年6万～27万人不足 厚労省推計

厚生労働省は30日、看護師や准看護師などの看護職員が2025年に6万～27万人程度不足するとの推計を発表した。高齢者が今後急増する都市部での不足が目立つ。厚労省は看護師養成のあり方や復職支援、地域偏在の対策を検討する。

25年に必要とされる看護職員数は、ワーク・ライフ・バランス（WLB）の改善を考慮し、残業時間の長さや有給休暇の日数で三つの設定にわけた。25年時点で必要な入院ベッドの数、将来の訪問看護や介護施設の利用者数をもとに計算すると、必要数はWLBの改善が進んだ順に①202万人、②190万人、③188万人だった。供給数の推計は175万～182万人だった。勤務環境が現状に近い②の設定で、供給数が175万人として都道府県別に結果をみると、不足数は東京で4万2千人。必要数に対する供給は77%にとどまった。大阪は3万7千人（75%）、神奈川は3万2千人（73%）だった。

一方、人口減少が始まっている地域などでは供給が上回り、20県で看護職員が足りる結果だった。ただし、厚労省の担当者は「足りているとされる所でも山間部などの病院や、訪問看護、介護分野を担う看護師が不足するところがある」という。

厚労省によると、保健師や助産師を含む看護職員は現在約167万人。年々増え続けているが、すでに地域や医療機関によっては深刻な状況に陥っている。夜間救急を中止したり、入院患者の受け入れを制限したりしている例もある。

神奈川県では、今年5月時点で県内14病院が「スタッフ（看護師）の不足」を理由の一つにして、休止や使っていない病床があった。不足する看護師は14病院で少なくとも計199人。平塚市民病院（410床）では16年から稼働していない8床を稼働させるには9人の看護師が必要だという。担当者は「看護師の就業環境をさらによくして看護師の確保に努めたい」と話す。

ただ、今回の推計と自治体の見直しにはずれも見られる。供給が約6千人上回るとされた熊本県は17年度、独自に4千人近く不足すると推計。4万人ほど不足するとされた東京都の担当者も「今の右肩上がりの供給が続けば、そこまで不足する状況にはならないと考えている」と話す。

都道府県別の看護職員過不足

